

高専通信

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY(KOSEN), TOMAKOMAI COLLEGE

VOL.160



オリエン
テーション

オープン
キャンパス

高専
体育大会

クラブ
活動報告

高専協力会
だより

TOPICS

2022年10月発行

苫小牧工業高等専門学校

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443 苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係
[URL] <https://www.tomakomai-ct.ac.jp> [MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

電気電子系 オリエンテーションに参加して

私たち2年4組は4月17日、電気電子系オリエンテーションに参加しました。そこでは、これから学ぶ専門科目についての話や今後の進路について、また、各実験室を見学して回り、先輩方との交流の場もありました。

特に実験室見学ではプラズマと触れ合えましたが、電気電子系の先生が実際に研究しているロボットについての話を詳しく聞くことができました。

先輩方と交流し、今後の自分の為にならなくてはいけないこと、今後の学校生活で大事にすべき事について考え直す良い機会になりました。

まだまだ不安はありますが、私たちはこのオリエンテーションで教えて頂いた事を意識して胸を張れる技術者になれるように努力していきたいです。



2年4組
橋本雅遠

機械系オリエンテーションの感想



2年1組
野村奈菜

今回のオリエンテーションでは、お世話になる先生方の紹介、学外実習や卒業研究、卒業後の進路、先輩方の本音を交えたアドバイスなどのお話がありました。

特に印象に残っているのは、「学生時代に打ち込んだ物事の中の困難なことにどうアプローチし、何を身に付けたのかを今から意識して生活してほしい」という言葉です。この言葉から、技術を身に付けるだけでなく生かすことが大切なのだと思います。ですので、物事の課題と改善点を日々意識して生活していきたいと思いました。

たくさんのお話を聞いて、機械系の学習がより楽しみになりました。これからクラスメイトと思い出を作りながら様々なことを身に付けていきたいです。

第2学年
オリエン
テーション

都市・環境系 オリエンテーションを終えて



2年2組
長尾優佑

オリエンテーションでは、都市・環境系の先生や先輩から今後4年間で何を学ぶか、就職・進学、将来の仕事について教わりました。第1学年では曖昧だった都市・環境系のイメージがより明確になりました。

また、第2学年から第5学年まで段階的に土木分野の知識を深く学ぶことも重要だが、併せて他系の分野にも興味を持ち幅広く学ぶ必要があるということも説明され、高専生活を通して可能な限り様々な知識を吸収しようと思いました。そのために、先生や先輩・同期・後輩と幅広く交流を深めながらたくさんのことを学び、高専生活を楽しみたいです。

将来は社会からの要求に対して柔軟に対処できるような技術者を目指したいと思います。

応用化学・生物系の オリエンテーションを受けて



2年3組
岡嶋美結

初回のHRの時間に第2学年オリエンテーションがありました。先生方、専攻科の先輩からお話をいただき、先生に実験室、教員室の案内をしていただきました。応用化学・生物系での勉強やレポートのこと、この系で大切なことや進路について教わり、学校内の見学では各実験室の実験内容についての説明を聞くことができました。これからのことについて深く知ることができよかったです。

教室に戻った後は親睦を深める交流をしました。クラス替えをしたばかりで話したことのない人と話すきっかけになり、お互いを知る良い機会になりました。卒業までの4年間、互いに助け合い、沢山の思い出を残していきたいです。これから一緒に学んでいくクラスメイトとともに深く化学を学んでいきたいです。そして、クラス全員で卒業できるように頑張っていきたいです。

情報科学・工学系

オリエンテーションを受けて



2年5組
松本大輝

私たち、情報科学・工学系2年生のオリエンテーションが4月12日に行われました。オリエンテーションでは先生方の紹介や系の特徴、進路や就職先など教えていただきました。その後、専攻科の先輩に来ていただき、勉強や高専生活のことについて教えていただきました。高専で生活していくうえで大切なこと、情報科学・工学系で勉強していくうえで重要なことなど教えていただきとても参考になりました。その後はクラス内で自己紹介をして仲を深めました。

最後に、これから4年間共に過ごす情報科学・工学系のクラスメイトとより良い時間を過ごし、皆で卒業できるように頑張っていきたいと思います。

第1学年オリエンテーションを実施しました

4月14日（木）に、本校第二体育館において第1学年オリエンテーションを実施しました。

第1学年オリエンテーションは例年一泊二日の日程で行われていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み、昨年度に引き続き短縮して行いました。実施にあたっては、学生間の距離を確保する、プログラムの合間に換気時間を設ける等の対策を行っています。

初めに、小林校長、須田学生主事による開会あいさつの後、専門系教員による各専門系の紹介が行われました。各専門系で学ぶ事柄や卒業後の進路の解説、ユーモアを交えた教員の紹介等、学生にとって次年度の配属先を検討する一助になったものと思われます。

続いて、北海道警察サイバーセキュリティ対策本部より講師をお招きし、SNS等に関する講演会を実施しました。学生にとって身近なSNSを題材に、日常に潜むリスク等をわかりやすく講演していただきました。

午後からは、SCORA北海道による性に関する講演会を実施しました。動画による講演でしたが、LGBTQ+等最近話題となっている内容について、わかりやすく説明いただきました。



令和4年度の授業参観を4月28日（木）9:00～16:00の時間帯に実施いたしました。

授業参観には、計292名（令和3年度、令和2年は未実施。令和元年度は225名）の保護者のみなさまにご来校いただきました。

コロナ禍ではありましたが、一昨年度および昨年度と実施できなかったことや、今年度は10連休となったゴールデンウィークの直前であったこともあり、学生寮に寄宿する学生が帰省しやすい日程となったことも参加者数増加の一因と考えております。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から見学される保護者のみなさまが密になることを避けるため、教室の中への立ち入り制限や30分程度の見学時間の制限など不自由な中での見学となりましたが、保護者のみなさまにご協力いただき無事実施することができました。

当日は木曜授業日でしたので、1年生科目「創造工学Ⅰ」

授業参観

ではモデルロケット製作の設計といったグループワークを主とした講義、各専門系での実験・実習、英語・数学などの一般科目など、様々な実施形態での授業を見学していただけたかと思います。

各種の学校行事の実施見合わせなどにより、学生の学校での様子を見ていただく機会が減少していましたが、これから再開していく中でより良い形で実施できるようにしていきたいと考えております。

最後に、今後とも本校および担任との連携を密にし、苫小牧高専における教育・研究、学校・寮生活等のご理解ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

P U S 2 0 2 2

オープンキャンパス開催報告

教務主事補 有馬隆司

苫小牧高専では、中学生、保護者、中学校関係者の皆様に苫小牧高専の教育活動を知っていただく機会として、毎年、オープンキャンパスを実施しています。今年は8月28日、29日に開催し、コロナ禍のため中学3年生限定で保護者の付き添いは1名までの事前予約制としました。当日は市内・市外から多くの中学生と保護者の皆様にご参加いただきました。来場者数は中学生280名、保護者等248名の合計528名でした。

オープンキャンパスでは、学校概要説明、キャンパスツアー、専門系模擬授業体験を実施しました。学校概要説明では、在校生2名と卒業生1名からの来場者へのメッセージを動画によってお伝えすることができました。これらを通して、本校の教育について理解を深める機会を提供することができたかと思います。

オープンキャンパスのアンケートの結果では、「苫小牧高専を知る上で大変参考になった・参考になった」という回答がほぼ100%でした。「現時点での、苫小牧高専の志望順位を選んでください」というアンケートでは、第一志望が67%、第二志望が28%、第三志望が5%という結果でした。また、大変好意的なご意見も多数頂きました。

さらに、オープンキャンパスだけに留まらず、「オンライン」オープンキャンパスという形で、いつでも本校の教育を詳しく知っていただける機会を作りました。オープンキャンパス当日には伝えきれなかった本校の様々な特徴や各専門系からのメッセージ、模擬授業体験などを特設サイトに公開中です。オープンキャンパス当日に頂いたご質問にも特設サイトに回答しております。9月23日から特設サイトを公開し、公開1日で100名を超える方にご覧いただいています。

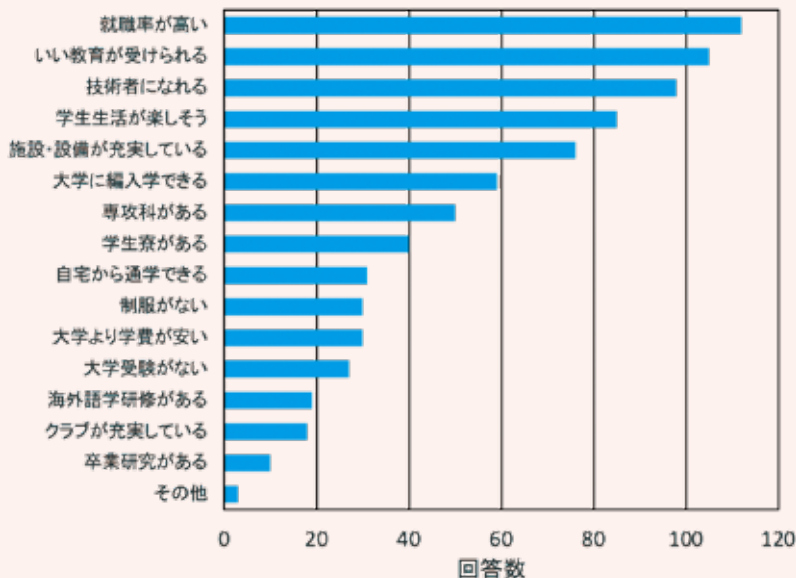
最後に、オープンキャンパスおよびオンラインオープンキャンパスの開催には、大変多くの教職員・学生の皆様にご協力いただきました。この場を借りて心より感謝申し上げます。



OPEN CAM

アンケートでいただいたご意見の一部を紹介いたします

- オープンキャンパスはすごく良かったです。短時間ではありましたが、子どもも絶対に苫小牧高専に行って勉強したいと思う気持ちが高まっていました。ありがとうございました。
- とても楽しい時間を過ごしたようです。学生の方がみんな高専はたのしいとお話しているのが、印象的でした。
- 親の私が興味を持てて、とてもわくわくするようなオープンキャンパスでした。積極的に参加したい、見たい、通わせたいと思う場所です。貴重な時間をありがとうございました。
- 体験型の授業の内容が、親子共々今まで見たことはあるが体験したことがなかった事を体験できたので、とても身近に感じることができ、とても楽しかったです。他の高校の説明会にも参加したのですが、苫小牧高専のオープンキャンパスが一番良かったです。



オンライン
オープンキャンパス
特設サイトのQRコード

苫小牧高専オンラインオープンキャンパス2022特設サイト
苫小牧高専特設サイト もっと知るには？
公式チャンネル

苫小牧高専を知りつくそう！

寮 祭

寮務主事補 池田愼一

6月11日（土）に蒼冥寮および楓和寮の寮祭を、3年ぶりに1日日程ではありましたが行うことができました。

4月当初、寮祭は6月10日（金）に前夜祭、6月11日（土）には本祭を想定し、蒼冥寮および楓和寮の担当委員会の委員長を中心に準備を進めてきました。コロナ禍前の本祭で従来行われてきたメインイベントの一つである昼食会のジンギスカンは早い段階で企画から外れ、蒼冥寮では前夜祭でバレーボールとe-スポーツ、本祭でソフトボールと抽選会を行う予定でした。一方、楓和寮でも前夜祭で抽選会、本祭で謎解き、スポーツ大会およびe-スポーツを行うべく詳細な企画書に基づき準備が進められていました。



しかし、寮を取り巻く状況が刻々と変わり、最終的には前夜祭を中止とし、蒼冥寮では雨天によりソフトボールは中止となりましたが、e-スポーツと抽選会、楓和寮ではe-スポーツ、謎解きおよび抽選会をそれぞれ本祭のみで圧縮して行うことができました。

それぞれの担当委員会は前日まで準備に追われ大変だったものの、限られた条件の中でも参加した寮生が楽しむことができる寮祭を滞りなく実施することができました。

令和4年度 第1回、第2回授業見学ツアー実施報告

教務主事補 有馬隆司

苫小牧高専では、本校の教育活動や高専生活の一端を見学できる機会の一つとして、毎年、中学生・保護者の方を対象に授業見学会を実施しております。これまでは秋に実施することが多かったのですが、より早い時期に実施することで中学生の進路選択の一助として頂くため、今年度は、第1回授業見学ツアーを5月19日（木）9：00～10：10、10：40～11：50、第2回授業見学ツアーを6月30日（木）9：00～10：10、10：40～11：50に実施しました。参加人数は、第1回目105名、第2回目160名といずれも満員でした。市内の方だけではなく、近郊・遠方の方にもお越しいただきました。ご参加頂きました中学生・保護者の皆様、誠にありがとうございました。また、残念ながらご参加が叶わなかった皆様には、心よりお詫びを申し上げます。

授業見学ツアーでは、本校1年生向けの授業「創造工学」に

おいて、第1回目は、モデルロケットの打ち上げおよび機械系、都市・環境系、応用化学・生物系の実験実習体験、第2回目はPythonプログラミング実習および都市・環境系、応用化学・生物系、電気電子系の実験実習体験を見学して頂きました。本校の学生が熱心に授業に取り組んでいる様子をご覧いただき、高専生活の雰囲気を感じて頂けたと思います。

実施後のアンケートでは、進路選択の参考になったという意見が第1回目97%、第2回目100%と本ツアーの目的を果たすことができたように思います。また、ご意見として、「とても楽しく見学させていただきました」、「今回の見学会で苫小牧高専に行くことのできるようになりました」など大変ご好評いただきました。ご協力いただきました学生・教職員の皆さまのおかげで無事に本イベントを終えることができました。心より感謝申し上げます。



高専体育大会

第58回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会の成績（個人戦は入賞者のみ掲載）

アーチェリー (7月1日開催 旭川花咲スポーツ公園洋弓場)				
《男子》	団体戦		優勝	
	個人戦	平間 光 (5-4)	第2位	
		瀬尾 光生 (2-1)	第3位	
《女子》	個人戦	林 千紗都 (4-3)	第1位	
ハンドボール (7月3日開催 苫小牧市総合体育館)				
《男子》			第2位	
剣道 (7月9日開催 旭川工業高等専門学校第二体育館)				
《男子》	団体戦		準優勝	
	個人戦	村田 智哉 (4-1)	第1位	
		小野寺 深人 (3-2)	第3位	
《女子》	個人戦	清野 陽 (2-2)	第2位	
バスケットボール (7月9日～10日開催 函館アリーナ)				
《男子》			優勝	
バレーボール (7月9日～10日開催 鷹栖町総合体育館)				
《男子》			第3位	
《女子》			第3位	
ソフトテニス (7月9日～10日開催 釧路市民テニスコート)				
《男子》	団体戦		優勝	
	個人戦ダブルス	堀井翔太 (5-4)・江良楓真 (1-3)	第1位	
		加藤魁人 (4-1)・奥田翔和 (4-2)	第3位	
《女子》	個人戦シングルス	本間 陽菜 (3-3)	第2位	

《女子》	個人戦シングルス	高橋 乃愛 (1-3)	第3位
	個人戦ダブルス	宮腰歩花 (3-3)・中野古都 (1-5)	第3位

卓球 (7月9日～10日開催 苫小牧工業高等専門学校体育館)				
《男子》	団体戦		第4位	
	個人戦シングルス	武内 哉太 (2-4)	第1位	
		西島 快 (2-3)	第2位	
	個人戦ダブルス	武内哉太 (2-4)・西島快 (2-3)	第1位	
《女子》	個人戦シングルス	猪股 万夢 (1-1)	第1位	

バドミントン (7月9日～10日開催 苫小牧市総合体育館)				
《男子》	団体戦		準優勝	
	個人戦シングルス	今井 瀬那 (1-5)	第3位	
	個人戦ダブルス	本間久聖 (3-1)・今井瀬那 (1-5)	第1位	
《女子》	団体戦		優勝	
	個人戦シングルス	寅尾 美羽 (3-2)	第3位	
	個人戦ダブルス	寅尾美羽 (3-2)・仁平りよ (1-2)	第1位	

野球 (7月9日～10日開催 函館市千代台公園野球場オーシャンスタジアム)				
《男子》			第3位	

テニス (7月9日～10日開催 函館市千代台公園庭球場)				
《男子》	団体戦		準優勝	
	個人戦シングルス	七島 峻 (3-2)	第1位	
	個人戦ダブルス	金子皓平 (4-3)・七島 峻 (3-2)	第1位	

サッカー (7月9日～10日開催 苫小牧緑ヶ丘公園サッカー場)				
《男子》			優勝	

第57回全国高等専門学校体育大会の結果について

全国高等専門学校体育大会は、高専教育の一環として、広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成するとともに高専相互の親睦を図ることを目的として毎年開催しています。各地区の高専体育大会を勝ち抜いてきた高専学生が集い、14ある競技種目を競う大会です。本校からは、陸上競技、卓球、サッカー、テニス、剣道、ソフトテニス、バスケットボール、バドミントン、水泳の9種目に73名の選手が出場しました。成績の詳細は次のとおりです。

陸上競技 (8月20日～21日開催 愛媛県総合運動公園 (ニンジニアスタジアム) (愛媛県))				
《男子》	総 合		第8位	
	100m	山 崎 流 (3-3)	第1位	
		増岡 完太 (3-1)	第2位	
	200m	山 崎 流 (3-3)	第1位	
		堀 晃 貴 (3-3)	予選敗退	
	400m	吉 井 陸 (5-1)	予選敗退	
		梅原 丈裕 (2-2)	予選敗退	
	1500m	安達 勇人 (1-4)	予選敗退	
	5000m	白戸 柚輝 (2-1)	第21位	
	4×100mリレー	(清野、山崎、堀、増岡)	第2位	
	砲丸投	堀 晃 貴 (3-3)	第12位	
	円盤投	清野 裕太 (3-3)	第13位	
	やり投	真木 丈士朗 (3-1)	第15位	
《女子》	総 合		第20位	
	100m	田 端 紗来 (5-2)	第8位	
	800m	田 端 紗来 (5-2)	第3位	
	砲丸投	西田 那奈 (3-2)	第12位	

卓球 (8月20日～21日開催 高知県立県民体育館 (高知県))				
《男子》	個人戦シングルス	武内 哉太 (2-4)	予選敗退	
	個人戦ダブルス	武内哉太 (2-4)・西島快 (2-3)	予選敗退	
《女子》	個人戦シングルス	猪股 万夢 (1-1)	予選敗退	

サッカー (8月20日～21日、23日～24日開催 高松市立東部運動公園、香川県総合運動公園サッカーグラウンド (香川県))				
《男子》			第3位	

テニス (8月24日～26日開催 大神子病院しあわせの里テニスセンター (徳島県))				
《男子》	個人戦シングルス	七島 峻 (3-2)	1回戦敗退	

剣道 (8月25日～26日開催 とくぎんモニアアリーナ (徳島県立体育館) (徳島県))				
《男子》	個人戦	村田 智哉 (4-1)	2回戦敗退	
《女子》	個人戦	清野 陽 (2-2)	2回戦敗退	

バスケットボール (8月27日～28日開催 愛媛県総合運動公園体育館 (愛媛県))				
《男子》			予選敗退	

ソフトテニス (8月27日～28日開催 香川県総合運動公園テニスコート (香川県))				
《男子》	団体戦		第3位	
	個人戦ダブルス	堀井翔太 (5-4)・江良楓真 (1-3)	2回戦敗退	

バドミントン (9月3日～4日開催 丸亀市民体育館 (香川県))				
《男子》	個人戦ダブルス	本間久聖 (3-1)・今井瀬那 (1-5)	2回戦敗退	
《女子》	団体戦		1回戦敗退	
	個人戦ダブルス	寅尾美羽 (3-2)・仁平りよ (1-2)	1回戦敗退	

水泳 (9月3日～4日開催 アクアパレットまつやま (松山中央公園プール) (愛媛県))				
《男子》	総 合		第24位	
	50m自由形	斎藤 晶太 (4-1)	第3位	
	100m自由形	及川 颯 (3-4)	第18位	
		竹田 優斗 (2-1)	第20位	
	200m自由形	及川 颯 (3-4)	第12位	
	200m個人メドレー	竹田 優斗 (2-1)	第15位	
	100mバタフライ	斎藤 晶太 (4-1)	第4位	



クラブ活動報告

演劇部

苦小牧高専演劇部は現在23人で月・火・木・金曜日に活動しています。一昨年去年とコロナにより年に1~2回しか公演できていませんが年々と新入部員が増え、私が1年生の時にいなかった男子部員も今では半数います。しかし、他の部活と兼部している学生が多いため毎回前日まであたふたしていることが多く、公演前は少々大変な部活です。

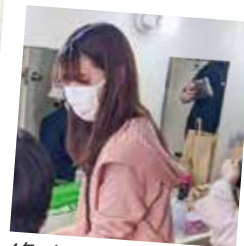
演劇部は5月に春の演劇フェスティバル、10月に高専祭、ハスカップ演劇祭で毎年公演させていただいていますが、今年度は高専祭と日程が被ったため、ハスカップ演劇祭には出られませんでした…。

しかし、その分高専祭に力を注ぎ、部員一同で最高の演劇を作り上げていきます！（高専祭前）また今回の高専祭は過去の公演と全く違う形で劇を構成しております！過去の先輩たちは1つの劇を60分フルに活用して演劇をしていくス

タイルでしたが、今年は60分を3つに区切り、青春・一人劇・コメディの3種類違う劇をやっております。役者の人数も裏方の人数もたくさん必要で、いつもの倍は時間も労力もかかる過酷な公演です。けれどその分お客さんには楽しんでいただけていると信じております。（笑）

また、高専内では12月ごろの冬フェスにも毎年参加させていただいていました！今はコロナの影響もあってか演劇部の参加がなくなりつつありますが…。今年も冬フェスが行われたら参加したいと部員達と話しております。その時はぜひ見に来てくれると嬉しいです。

こんな感じで人数が大幅に増えた分、新しいことにも挑戦していける環境が整いつつあります。高専内だけでなく苦小牧の地域の人たちも楽しめるように、どんどん成長出来たらなと感じております。



4年2組

高木梨々香



応援団

第56代応援団団長の芳賀裕之です。応援団は56年続く歴史のある組織で、現在は13人が所属し、平日16:30から樽前広場で2時間弱程度練習を行っています。コロナ禍であり活動することができなく、年々人数が減っていましたが今年度は3人の1年生が入団してくれました。

我々応援団は、主に野球部の試合で応援をするために練習をしています。大きく分けてエールの「型」（振付）を覚え全員で動きを揃える練習と、大きな声を出す練習の2つを行っています。昨年はコロナ禍での制約により、野球の大会では声を出さない型のみの応援をしてきました。今年は3年ぶりに高専体育大会へ参加することができましたが、型のみの応援を行いました。しかしながら、少しでも野球部の皆さんの力になれるよう精一杯心を込めてエールを送ることができたことを嬉しく思います。

今後は、団員一人一人の応援の質を向上させるための練習をしていこうと考えています。コロナ禍で練習期間が大幅に減ってしまったことで、例年よりも質の低下が感じられるためです。来年以降この代々受け継がれてきた伝統を守っていくために今年度が大事な年だという考えを皆で共有し、応援団全員が前向きに取り組めるような

雰囲気を上級生が中心となって作っていきたいと思います。

例年、野球の大会だけではなく新入生との対面式や高専祭での屋台などでも皆さんにエールを送っていたのですが、そのような機会も減っているので苦小牧高専の皆さんが我々応援団を認知しているのがとても不安です。これを読んでいる皆さんは私たち応援団のことを忘れないでください。そして少しでも興味があれば是非見学に来てみてください。後悔はさせません。団長である私が保証します。



5年2組

芳賀裕之



硬式野球部

こんにちは！硬式野球部5年主将の安部憲法です。硬式野球部は高専チーム16名、高校野球チーム11名、マネージャー5名の計32名で活動しています。練習は週に5日で土日は練習試合や紅白戦をしています。我々の目標は3年生以下の高校野球チームは地区大会で優勝すること、高校野球を終えた3～5年の高専チームは高専体育大会で全国に行くことです。

今年は、高校野球の夏季大会では9年ぶりに初戦を突破しました。高専体育大会の北海道予選では、惜しくも1回戦で敗退してしまいましたが、チームの状況は非常に波に乗っています。自分自身負けてしまい悔いは残りましたが、後輩たちに野球に対する熱が届いたと思います。これからの苫小牧高専硬式野球部の活躍に期待しているところです。

野球部について、「部員のほとんどが野球経験者で未経験者には難しそう」、「野球部はちょっと怖そう…」という印象を

持っている方もいると思いますが、そんなこと一切ありません！多くは高専から硬式を始めているので、スタートラインはみんな一緒です。初心者も大歓迎です！32名は多いように見えますが、毎年チームはギリギリの人数で試合に臨んでいます。ですから、野球部に入れば、向上心と勝ちたい熱い気持ち次第ですぐにスタメン入りも可能です。

高専野球部の良いところは、部員同士で練習メニューを考えたり打順を組んだりしているところです。とても楽しい雰囲気だみんなはつらつとプレーしています。先輩、後輩みな仲良しなので普段の学校生活で困ったこと、勉強の手助けもしてくれます！

最後に、野球はやる人、見る人すべての人の心を動かします。ぜひ、野球部で青春を共にしましょう！



5年2組

安部憲法



卓球部

卓球部は現在、1～4年生の23名で活動しており、月、水、木曜の週3日、第二体育館で練習を行っています。部員のほとんどが卓球経験者ですが、本校入学後に始める部員もいます。個人戦、団体戦での全国高専体育大会出場を目標に、基礎トレーニングから試合形式まで幅広い練習を行っています。

卓球は、走りながらチェスをするようなスポーツだと言われており、非常に奥が深いです。ただ強い球が打てれば勝てるというわけではなく、相手の意表をつくような戦術や、自分のやりたいことを押し付けるプレーなども大事であり、とても頭を使うスポーツです。そんなスポーツだからこそ、自分より強い相手にも勝てるチャンスが生まれ、勝てた時の嬉しさは他に代えがたいものがあります。また、卓球にはプレースタイルがたくさんあり、それぞれが違った特徴を持ってプレーをしているというところも魅力の一つです。

卓球部は練習の雰囲気がとても良く、互いにアドバイスし合いながら日々切磋琢磨しています。また、初心者でもきちんと練習すればすぐに上達につながり、先輩や仲間の指導を受け、良い成績を残せ

ることもあります。今年は新型コロナウイルスの影響で思うように練習できなかった時期もありましたが、先日行われた北海道地区の高専体育大会個人戦では、3名が全国大会出場を決めています。団体戦もあと1歩と

いう内容だったので、来年こそは団体戦も含め、全国大会に出場したいと、まさに部全体で意気込んでいる状態です。

卓球はとても面白いスポーツです。強く楽しい仲間がたくさんいますので、卓球をやってみたい方や、中学などでの卓球経験者は、ぜひ部活動の様子を見に来てください。やる気がある方は誰でも大歓迎です。



4年1組

金谷 拓

Club Activities

高専協力会だより

苫小牧高専協力会の活動について

1 専攻科研究・研究シーズ発表会の開催

苫小牧高専地域連携シンポジウム2021

日 程：令和3年12月3日（金）17:00～19:00
場 所：グランドホテルニュー王子3階「グランドホール」
講 演：「データサイエンスとDX～ものづくりにおける不確実性の低減～」
アングルトライ株式会社 代表取締役 手島昌一氏
「インフラ構造物の維持管理に関する調査研究」
苫小牧高専創造工学科 都市・環境系 准教授 松尾優子氏
専攻科研究発表：専攻科1年生29名 ポスターセッション形式



2 定期総会の開催

総 会
日 時：令和3年8月2日（月） 16:30～
場 所：グランドホテルニュー王子3階「グランドホール」

3 第10回会員企業合同研究会の開催

第10回苫小牧工業高等専門学校協力会会員企業合同研究会
日 時：令和3年12月21日（火）
前半の部：13：10～14：30

後半の部：14：50～16：10

場 所：苫小牧工業高等専門学校 第一体育館
出展企業：80社

4 学校・学生との交流・共同事業

- ・令和3年度専攻科1学年授業科目「共同教育」
- ・苫小牧高専「創造工学Ⅰ・Ⅲ」における座談会「ジョブトーク」
- ・令和3年度「共同教育プロジェクト成果発表会」の共催
- ・苫小牧高専令和3年度公開講座への後援
- ・苫小牧高専サテライト「C-base」との連携・協力



5 道内4高専卒業者向け「I・Uターンマッチングシステム」への参画

6 各種助成・図書寄贈

- ・地域共同研究センターへの研究費助成
- ・学術情報センターへの図書寄贈
- ・専攻科1学年授業科目「共同教育」への助成
- ・コロナ特別助成 空気清浄機、ディスプレイモニター寄贈

河川防災研究室

水は私たちの身近な存在であり、生きていくために必要なものです。しかし、時には牙をむいて洪水、渇水、大雪と災害をもたらします。自然と共存することは根本的に難しいのかもしれませんが、自然の摂理を解明し挙動を知ること、もう少し自然の中で人間社会は共存できるのではないかと希望を持っています。壮大なスケールで表現すると、このようなモチベーションで研究をしています。

ここからは、現実的なスケールにして話しましょう。実際に北海道で身近な災害といえば雪害を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか？夏は台風が活発に大雨をもたらす季節ですが、北海道ではどこ吹く風であり意識していない災害の一つだと思います。また、雄大な大地を保有している北海道では、水資源の観点で渇水を意識することも少ないでしょう。しかし、10年後、20年後もこの状態は続くのでしょうか？

都市・環境系助教 谷口陽子

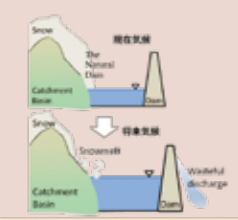
か？

2021年度冬季は本当に大変な豪雪でした。交通は断たれ、家は押しつぶされました。2016年の夏季は4つの台風が上陸または接近しました。今まで経験したことのない豪雨により堤防は決壊し、ダムは緊急放流を余儀なくされました。2020年度の冬季は2021年度とは逆に小雪の年でした。水資源の6割を積雪が担っている北海道において、小雪は水資源の観点で非常に重要な問題です。

私たちはこのような問題に立ち向かうため、降雨と流出関係、積雪と融雪関係、貯留と放流関係、といった様々な水の扱いについて研究しています。

研究室紹介

自然と人工の水循環を考慮した水供給



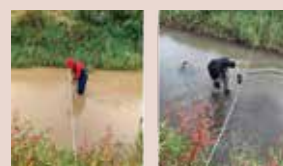
融雪量の予測が安定した水供給につながる

融雪期の大雨+融雪による洪水



融雪量の予測の精度が低いと洪水予測が正しく行えない

流量観測の様子・観測値を自分で取りに行く



TOPICS

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」に認定されました

令和4年8月24日付けで本校の教育プログラムが「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」（文部科学省）に認定されました。

本認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力（リテラシーレベル）や、課題を解決するための実践的な能力（応用基礎レベル）を育成するため、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行う大学等の正規の課程（教育プログラム）を文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。本校の教育プログラムは昨年度開始したリテラシーレベルの認定を受け、そして今年度始まった応用基礎レベルについても認定されたこととなります。応用基礎レベルに認定された高専は全国で5高専のみで、全学単位での認定は全国で本校のみとなります（他の4高専は一部学科のみの認定）。



本校における教育プログラム（応用基礎レベル）は、第1学年～第3学年の必修科目により構成されており、対象となる令和3年度以降に入学した全学生には卒業時にプログラムの修了証を授与します。

本校では令和4年度入学生からカリキュラムを変更し、新規科目「AI・データサイエンスI・II・III」を設置しています。専門系によらず全学生に対して、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力及び実践的な能力の向上を図り、認定機関としての役割を果たしていきます。

詳細はこちら

数理・データサイエンス・AI教育プログラム
(<https://www.tomakomai-ct.ac.jp/datasicience>)



○認定期間は令和9年3月31日までです。

人事異動

○令和4年5月24日付

非常勤教職員

【採用】

技術補佐員（甲野教授研究室） 相内 優里

○令和4年6月1日付

非常勤教職員

【採用】

学生課学生係事務補佐員 佐藤 雪捺
技術補佐員（甲野教授研究室） 長岡 佑哉
技術補佐員（甲野教授研究室） 山下 響生
技術補佐員（藤田助教研究室） 佐々 涼水

○令和4年6月6日付

非常勤教職員

【採用】

学生課教務係事務補佐員 齊藤 陽子

○令和4年6月30日付

非常勤教職員

【辞職】

学生課学生係事務補佐員 三浦 彩

○令和4年7月1日付

常勤教職員

【配置換】

総務課人事係主任 三國 谷理恵
(総務課財務係主任)

総務課財務係主任 石橋 舞子
(総務課人事係主任)

総務課総務係員 木村 玲太
(函館工業高等専門学校学生課教務係員)

学生課学生係員 窪田 梨七
(総務課総務係員)

函館工業高等専門学校学生課教務係主任 小田 涼太
(学生課学生係主任)

非常勤教職員

【採用】

特命准教授 井藤 青羅
特命准教授 豊島 大治
事務補佐員（高橋教授研究室） 大崎 望
技術補佐員（松尾准教授研究室） 中澤 愁杜
技術補佐員（松尾准教授研究室） 濱野谷 拓望

○令和4年7月12日付

非常勤教職員

【採用】

技術補佐員（村本教授研究室） 尾田 龍司

○令和4年7月31日付

事務職員

【雇用期間の満了】

総務課財務係事務補佐員 山口 麻美
技術補佐員（松尾准教授研究室） 中澤 愁杜
技術補佐員（松尾准教授研究室） 濱野谷 拓望

○令和4年8月1日付

事務職員

【採用】

総務課財務係事務補佐員 清水 真記子

○令和4年8月16日付

非常勤教職員

【採用】

特命教授 玉置 昭文

○令和4年9月1日付

教育職員

【昇任】

創造工学科准教授（応用化学・生物系担当） 藤田 彩華

○令和4年9月12日付

非常勤教職員

【採用】

技術補佐員（岩波教授研究室） 秋山 七海

○令和4年10月1日付

常勤教職員

【配置換】

総務課企画調査係主任 小幡 修平
(総務課調達係主任)



高専通信

vol.160 contents

- | | | | |
|---|-----------------------|----|-------------------|
| 1 | 第2学年オリエンテーション | 6 | 高専体育大会 |
| 2 | 第1学年オリエンテーション
授業参観 | 7 | クラブ活動報告 |
| 3 | オープンキャンパス | 8 | |
| 4 | | 9 | 高専協力会だより
研究室紹介 |
| 5 | 寮祭
苫小牧高専授業見学ツアー | 10 | TOPICS
人事異動 |

編集後記

今回の高専通信第160号では、令和4年度前半の本校の活動をお届けします。

「第1学年オリエンテーション」と「第2学年オリエンテーション」に参加した学生たちの声、「オープンキャンパス」の様子、「高専体育大会地区大会および全国大会」の成果、「授業参観」や「授業見学ツアー」の実施報告などが掲載されています。

これらの行事は対面形式で実施され、構内においても授業や実験、実習、部活動など、人と触れ合う日常を過ごせるようになってきています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で長期間にわたって遠隔授業を行ったり、多くの行事が中止になった1年前、2年前に比べ、ようやく元の学校生活に戻りつつあることを実感しております。

今後も様々な活動が予定されており、本校の情報をみなさまにお伝えしていきます。学生や教職員が生き生きと取り組んでいる様子を感じとっていただければ幸いです。

総務主事補 松田奏保

〔高専通信に関するお問い合わせ先〕

苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係 〒059-1275 苫小牧市字錦岡443
TEL.0144-67-0213 [MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

